

## #01\_雨の降る夜～オープニング～

「ん…？」

「何、お兄さん…私になんか用？」

「はぁ…見てわからない？ 雨宿りしてんの」

「はぁ？ 余計なお世話なんですけど…」

「見てわかんない？ 傘ないの」

「それに…傘があったって帰る所もないし…」

「…はぁ。いいからほっといて！」

「あんたに何か言われたり、説教されたり、心配される筋合いなんてない！」

「関係ないんだから、どっか行ってよ…！」

「んっ…！ くちゅんっ…！」

「ほら…帰りなよ」

「私みたいなのに声かけてるの、誰かに見られたら怪しまれるよ」

「だから…」

「…は？」

「何？ 泊めてくれるって…私を？ あんたが？」

「……」

「まぁ…風邪引くよりかはマシか…」

「はぁ…」

「いいよ。連れてって」

「一晩だけ、泊めさせてもらう」

「ん…行く宛もないし…風邪、引きたくないし」

「それじゃあ、連れてってよ」

「ん…よろしく」